

日田市の小学校体育部会で伝えたこと

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

日田市では、年4回先生が一同に集まり、教科別に分かれて研究をしています。昨年度からは、「一人一台端末」を活用した研究を各部会でできるようになりました。

私は小学校の体育部会に所属しますが、部会では、毎回「体育専科から」という発表の場をいただき、知り得た情報を伝達するようになっていっています。そこで5月の部会では、研究仮説に合わせて岩崎が実践したことを整理し、部員に紹介しました。

研究主題
3つの資質・能力を育む、1人1台端末を効果的に活用した体育学習の在り方

研究仮説
子どもたちの主体的で対話的な深い学びを実現するために、1人1台端末を効果的に授業で活用したり、場の設定や発問の工夫などを行ったりすれば、3つの資質・能力をバランスよく育むことができるだろう。

研究仮説

子どもたちの**主体的で対話的な深い学び**を実現とは

主体的=必然的
(自分にとってなくてはならないもの)

課題の提示

試行

思考

試行と思考の往還がより深い学びへと

主体的に学べる状態って

授業者が「〇〇したい」と**素材を教材化する**だけのこと

表現したくなる具体物の準備

研究仮説

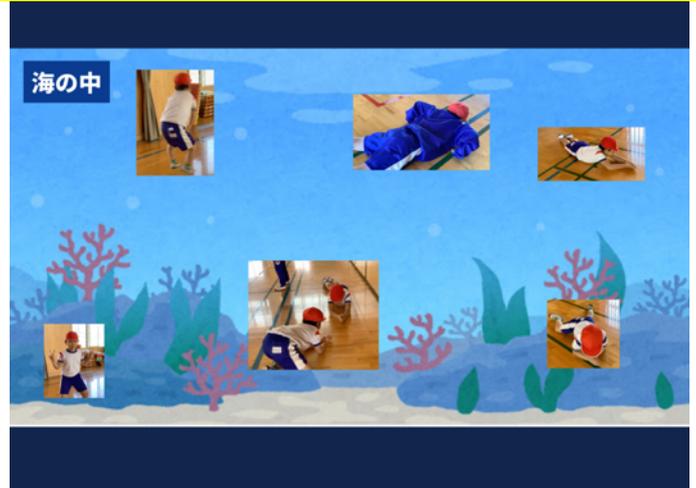
一人一台端末を効果的に活用とは

海の絵の PDF に生き物動画の貼り付け

ワンページポートフォリオ

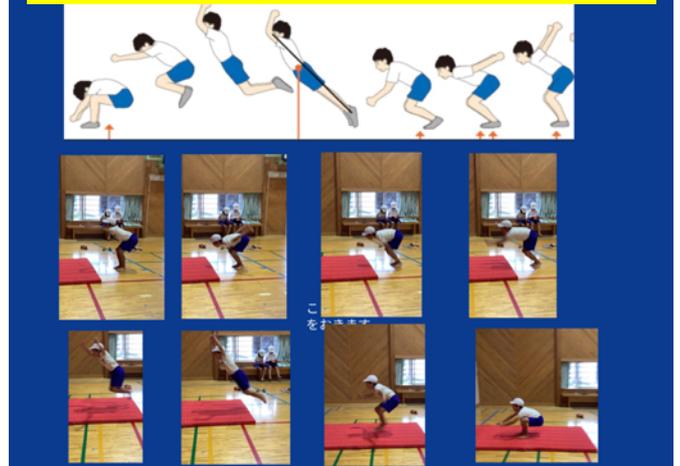
名前：いわさきたかし

目標記録：67cm



動画→一時停止→スクリーンショット→比較

はんぶく横とび
ちがいをしらべてみよう



思考ツールの活用

①まず自分でそうそうする。
②友だちと話し合う。
③表現する、さつえいする。
④動画をはめこむ。



研究仮説

場の設定や発問の工夫とは

一人一台端末を使うことによる、言語活動の活性化



音楽&仲間とのシンクロ



選ぶ
見付ける 教材にしていますか？



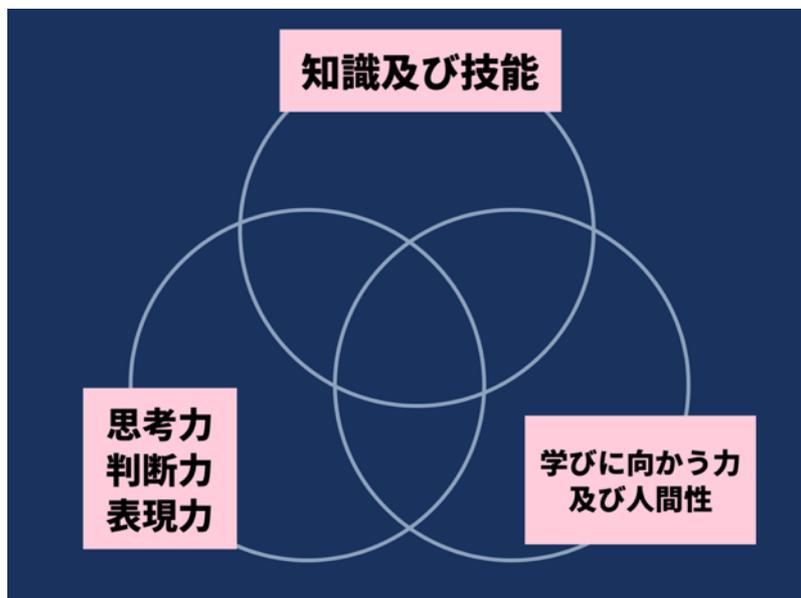
距離、ハードルの高さの選択 (8秒間ハードル走)



自分の動きの可視化



こちらが準備した視点についての発問など



今年度の日田市の研究は、「一人一台端末の効果的な活用」と「場の設定や発問の工夫」が、二本柱になりますが、私自身はいつも、三つの資質・能力がバランスよく育まれるよう授業を工夫しているつもりです。

こうするといよいよといった情報をお持ちの方いましたら、いろいろ教えていただけると幸いです。

また、岩崎の体育授業に興味ある方いましたら、いつでもご連絡ください。授業参観、大歓迎です。